

## 別記

様式第1号(第8条、第9条、第12条関係)

## 事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2025年 7月 31日

(宛先)

滋賀県知事

提出者

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)  
滋賀県大津市浜町1番38号氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)  
株式会社 滋賀銀行  
取締役頭取 久保田 真也滋賀県CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例第25条第3項 → 第25条第4項  
第27条第1項 → 第27条第2項において準用する同条例  
第26条第1項  
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項

の規定に基づき、  
[事業者行動計画を策定 (変更) 事業者行動報告書を作成] したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	株式会社 滋賀銀行 取締役頭取 久保田 真也
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	滋賀県大津市浜町1番38号

## 1 事業所の概要

事業所の名称	株式会社滋賀銀行 本店					
事業所の所在地	滋賀県大津市浜町1番38号					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	6	2	2	1	※ 産業分類・細分類名称を記載
事業の概要	金融業					
従業員の数	873人	人	作業時間	8	時間/日	(8:45-17:15)
該当する事業者の要件	<input type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者 <input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者 <input checked="" type="checkbox"/> 任意提出事業者					
主要な設備	ボイラ	0	台	熱源設備	12	台
	コンプレッサ	0	台	空気調和設備	282	台
				照明設備	8646	台
				その他		

## 2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	2024	年度	報告対象年度	2024	年度
	終了年度	2028	年度			

## 3 計画の(内容・実施状況)

計画の(内容・実施状況)	別添のとおり
--------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

**【サステナビリティ方針】**  
 行は「自分にきびしく 人には親切 社会につくす」を原点とするCSR憲章(経営理念)の実践を通じて企業価値の向上を目指すとともに、地域との共創により持続可能な社会の実現に貢献します。  
 (1)マテリアリティ(重要課題)の特定と事業活動を通じた地域の課題解決  
 (2)事業活動による社会的インパクトを重視した経営  
 (3)地球環境の保全・再生に資するビジネスモデルの確立  
 (4)人権の尊重と社会との信頼関係の構築  
 (5)自ら考え行動できる人材の育成と職場環境の整備

**【環境方針】** ~地域社会の持続可能な未来を目指して~  
 当行は、「未来からの預かりもの」である琵琶湖を擁する滋賀県の地元銀行として、ESG金融の推進により持続可能な地域社会づくりに貢献するとともに、「お金の流れて地球環境を守る」との気概で、「気候危機への対応」および「生物多様性保全」に向けた取り組みを進めていきます。  
 (1)事業活動を通じた地球環境保全  
 (2)環境負荷低減への取り組み  
 (3)環境関連法規等の遵守  
 (4)ガバナンス・マネジメント体制  
 (5)全員参加と情報開示

2 取組の推進体制

- ・エネルギー管理統括者 総合企画部担当役員
- ・エネルギー管理企画推進者 総合企画部サステナブル戦略室長
- ・エネルギー管理員 総務部担当者

The diagram illustrates the environmental management organization. On the left, it shows the internal structure with '本部各部・各室内' (Internal Departments) and '関連会社内' (Within Related Companies). It details the roles of the Board of Directors, various department heads (課長), and implementation officers (実施責任者) down to staff members (従業員). On the right, the '環境マネジメント組織図' (Environmental Management Organization Chart) shows the reporting lines from the parent company (親取) through an internal audit team (内部監査チーム) and environmental management officers (環境管理責任者) to the Sustainability Committee (サステナビリティ委員会) and ISO Secretariat (ISO事務局), which then oversees internal departments and related companies.

3 これまでに取り組んできたCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに係る取組

- ・2008年6月に「エコ・ファーストの約束」を環境大臣と約束。全国で第7号、金融業界初の「エコ・ファースト企業」の認定を受ける
- ・1994年より行内に紙資源リサイクルシステムを設置し、2018年度は482tの紙資源をリサイクル。リサイクル率は99.8%
- ・2004年にCSR委員会並びにCSR室を設置し、環境経営を実践
- ・2005年より「エコスタイル」を開始し、夏季28℃、冬季19℃に室内温度を設定し徹底
- ・2007年に「CSR憲章」を制定。地球環境との共存共栄を実践
- ・2007年に「エコメール」を導入
- ・2008年より「ヨシ紙名刺」を導入。ヨシ群落を守り、育てる活動から、ヨシを活用するステージハステップアップ
- ・2008年浜町研修センターに環境関連設備を導入。「CASBEE」Sランクを取得
- ・2010年に「環境方針」を改定。「生物多様性保全方針」を制定
- ・2014年に温室効果ガス排出量を実質ゼロとする「カーボンニュートラル店舗」として栗東支店オープン
- ・2019年6月に「エコ・ファーストの約束」を更新。環境大臣に提出
- ・2020年にPRB(責任銀行原則)に署名
- ・2020年に「サステナビリティ方針」を制定、「環境方針」を改定
- ・2020年にCSR委員会を「サステナビリティ委員会」に改組
- ・2020年に「『しがぎん』サステナビリティ・リンク・ローン」取扱開始
- ・2021年に「『しがぎん』サステナビリティ・リンク・ローン「しがCO<sub>2</sub>ネットゼロ」プラン」取扱開始
- ・2021年に「カーボンニュートラルローン未来よし」取扱開始
- ・2022年に燃料電池自動車「MIRAI」を導入
- ・2022年3月に本店敷地内で使用する電力をCO<sub>2</sub>フリー電気に切替
- ・2023年1月にCO<sub>2</sub>排出量管理ツール「未来よしサポート」を開発・導入

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	運用改善	夏季・冬季のエコスタイル、空調温度の設定(夏季28℃、冬季19℃)、照明開引き、OA機器節電(輝度設定、離席時の電源オフ、スタンバイ設定)、早帰りの励行等、エコオフィスづくりを実施。温室効果ガス排出量削減を経営計画に盛り込み、高い意識で取り組む。	2024-2028年度	継続実施中
2	設備導入	本部、本支店・出張所等の空調機、照明設備の更新	2024-2028年度	継続実施中
3	設備導入	ATM・イントラパソコンの更新	2024-2028年度	継続実施中
4	設備導入	公用車・バイクの環境対応車への切り替え	2024-2028年度	継続実施中
5	設備導入	再生可能エネルギーへの切り替え	2024-2028年度	継続実施中

(2) エネルギー起源CO<sub>2</sub>以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
<p>【数値目標】 第8次中期経営計画(2024年度~2028年度) カーボンニュートラル社会の実現に向けたGHG排出量削減(scope1,2) ⇒2029年3月までにネットゼロ達成</p> <p>グループ全体の実績 2013年度排出量 9,245t(基準年) 2021年度排出量 5,354t(42.08%削減) 2022年度排出量 3,069t(66.80%削減) 2023年度排出量 3,799t(58.90%削減)</p> <p>【計画内容】 環境金融商品、ボランティア活動、クレジット購入、EV・HV車両や環境設備への切り替え等を通して排出量削減を行う。</p>	<p>【数値目標】 第8次中期経営計画に掲げた達成指標の進捗は以下の通りです。</p> <p>2023年度排出量 4,009t 2024年度排出量 3,873t 削減率3.4%</p> <p>2029年3月のネットゼロ達成に向けた削減計画の立案を進めています。</p>

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告				
		(2024)年度	( )年度	( )年度	( )年度	( )年度
原油換算エネルギー使用量	kL	1,417	1,401			
温室効果ガス総排出量	t-CO <sub>2</sub>	1,693	32			
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	1,693	32			
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>					
CH <sub>4</sub>	t-CO <sub>2</sub>					
N <sub>2</sub> O	t-CO <sub>2</sub>					
HFCs	t-CO <sub>2</sub>					
PFCs	t-CO <sub>2</sub>					
SF <sub>6</sub>	t-CO <sub>2</sub>					
NF <sub>3</sub>	t-CO <sub>2</sub>					
エネルギー等原単位の推移						

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	店舗の新築または増改築時における太陽光パネルの設置	2028年まで	継続実施中
2	子会社(株式会社しがぎんエナジー)による太陽光発電事業の拡大	2028年まで	継続実施中
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	2029年3月までにネットゼロ達成に向けて、グループ内の再エネ調達を進める。
2	営業車のハイブリッド自動車への切替を進める。
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	4	kW	水力・小水力		kW	地熱		kW
太陽熱		kW	バイオマス		kW	その他 ( )		kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績								

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(2024)年度	( )年度	( )年度	( )年度	( )年度
再エネ電気設備での発電量	kWh	4,802	4,832				
上記のうち自家消費量	kWh						

(第4面)

6 事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減によりCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに貢献する取組

(1) 取組の内容およびその実績

取組の内容等	取組の実施状況
<ul style="list-style-type: none"><li>・SDGs私募債(未来よし+プラン)</li><li>・脱炭素貢献目標を掲げる「サステナビリティ・リンク・ローン」</li><li>・脱炭素貢献目標を掲げる「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」</li><li>・脱炭素に資する資金使途の「グリーンローン(ボンド)」</li><li>・脱炭素関連目標を掲げる「サステナブル評価融資」</li><li>・スーパー住宅ローン未来よし</li><li>・カーボンニュートラルローン未来よし</li><li>・未来よしサポート</li><li>・再生可能エネルギー関連のプロジェクト向け投融資</li></ul>	2024年度からスタートした第8次中期経営計画に掲げる達成指標「地域や社会の持続可能性を高めるサステナブルファイナンス実行額」は、初年度目標1,260億円に対して、実績は1,278億円(達成率101.5%)の進捗となり、順調に推移しています。
	CO <sub>2</sub> 削減貢献量
	t-CO <sub>2</sub>

(2) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

目標および目標設定の考え方
地域や社会の持続可能性を高めるサステナブルファイナンス実行額
【達成目標】 ・期間累計7,000億円(温室効果ガス削減に資するファイナンスを含む)
【社会のサステナビリティ】 ・世界、日本、地域におけるGHG排出量の削減
【当行のサステナビリティ】 ・地域の取引先や地域社会のサステナビリティ向上に伴う、当行の経営基盤・収益基盤の強化ESGへの取り組み強化

(3) 上記の取組にかかる目標の進捗に対する自己評価およびCO<sub>2</sub>削減貢献量の算出根拠

目標の進捗に対する自己評価
6(1)「取組の実施状況」に記載と同様。
CO <sub>2</sub> 削減貢献量の算出根拠

7 その他のCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに資する取組

## (1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(2024)年度	( )年度	( )年度	( )年度	( )年度
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO <sub>2</sub>	1,693	32				
エネルギー起源CO <sub>2</sub> 【調整後排出係数】	t-CO <sub>2</sub>	1,693	32				
【調整後排出係数】	kg- CO <sub>2</sub> /kWh	0.000					
特記事項							

## (2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(2024)年度	( )年度	( )年度	( )年度	( )年度
グリーン証書の購 入	t-CO <sub>2</sub>						
クレジットの購入	t-CO <sub>2</sub>		6				
特記事項							

## (3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケ ジュール	
1	公共交通機関 の利用促進	エコ通勤の実施	2024年～	継続実施中
2				
3				

## (4) 業務で使用する車輛の脱炭素化の取組

項目	単位	計画開始年度 前年度の 保有台数	実績報告				
			(2024)年度	( )年度	( )年度	( )年度	( )年度
保有車輛の数	台	421	434				
上記のうち 次世代自動車等の 数	台	167	223				
特記事項							

(5) その他のCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施 スケジュール	
1	SDGs	地球温暖化問題の解決と持続可能な社会を実現するために、森づくりサポート活動などのSDGsボランティア活動を実施しています。	2024年～	継続実施中
2	環境マネジメ ントシステム (EMS)	当行独自の環境マネジメントシステムを運用し、しがぎんグループで働くすべての人が環境について考え行動するため実施しています。	2024年～	継続実施中
3				
4				
5				